

さらに具体的に聞きました！

今度こそ部活動変わるの？

再質問①：平成25年にもガイドラインが示されたが、有名無実化だった。今回はこうした結果も踏まえ、目安ではなく省の「方針」として指導するものと理解しています。

その第一義的な目的は「部活動の総量の削減」と捉えている。つまり、部活動を「もっとやりたい！」としている方々への「規制」と考えているが、どうか？

答：議員のおっしゃる通りの認識です。今後4月に出す「部活動の適正な運営」にも「部活動検討委員会」を立ち上げ、地域の方々にも参加していただき、部活動の評価など話し合っていただくことになっています。

再質問②：昨年12月にも話したが、具体的課題が改善されている様子が見られない。例えば、県外の練習試合遠征や、中体連主催以外の大会参加の回数が多いと言った問題への対応は？

答：今後は、参加する大会も「精選」していくとして、適正な運営にも記述してあります。

再質問③教員の多忙化対策で、タイムカード管理によって先生の時間制限は可能ですが、非公式な形で朝連や夜間練習が、続けられるようなことはないですか？

答：朝活動はあくまでも「やむを得ない場合のみ」として示していく考えです。

再質問④費用負担もおよそ義務教育とは思えないほどの負担に対しての制限への考えは？

活動費の残高があるにもかかわらず、徴収して繰り越しを残す事例も聞いている。年度の最初に「程度や基準」も含めて公表すべきだが…。

答：4月に出される適正運営では、冒頭にまず、学校の方針を示し伝える。さらにそれを受け、各顧問が活動計画を作り、保護者会の中で理解をいたぐ流れに費用負担含めて理解していただいたら上で進めることになっています。

費用負担の在り方も含めて、こうした考え方方に立つことが重要と認識しています。

再質問⑤：お金を払ってでも強くなりたい！技術を習得したい！という方々はジュニアスポーツやスポーツクラブへというステージを作つてあげるとかを検討していくべき。

まさに今回の改革の出発は、積極派と消極派の「棲み分け」にあると考えます。

スポーツ庁では、友人作りや体力作りを主眼とする「ゆるスポ」導入も検討しています。地方にはこうした受け皿や基盤がないので諦めないで欲しい。両者共に悩む状況の改善への最大限の努力を望みます。

答：オリンピックを目指したい…一方で体力の維持程度で…生徒にも保護者にも様々な価値観の幅があることは承知しています。

沼田市の特徴方針である「教育部活」の意義をしっかりと定着・浸透させていくことが重要と考えています。

心・技・体のバランスの取れたカタチを、引き続き求めていきたいと考えます。

再質問⑥：今日のこうした答弁をしっかり各学校へ徹底して欲しい。また、公表の方法はどうやっていくのか伺います。

答：この議論は2月3月の定例校長会でもまとめてきています。「教育部活」のHPにて公表していく考えです。

この4月は大変重要な月です。そしてこうしたことが徹底されることによって、教員にとっても、生徒にとっても有意義なものとなるようにしていきたいと考えます。

やるならトップが狙えるレベルまで
勝利や結果の出せる部活派と
全員加入だから…入部
運動は苦手だし勉強も心配
結果より友人作りや体力作り派を
「同居」させておくことが問題

生徒自身の主体性を尊重し
部活の総量を規制し義務教育としての節度
を盛り込むことが新ガイドラインの目的

↓
お困りの方、遠慮無く連絡を！

高柳かつみ

2018年 春期 N〇58号

歩む会ニュース

発行責任者 高柳勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号 ☎ 25-8062
ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> Eメール xx.takayanagi-po@au.wakwak.com

さいたま市浦和区にある「フードバンク埼玉」事務所を訪ねて、廃棄や処分の対象で、まだ充分食べられる食品の集め方、配り方、区分けの方法、掛かる費用や実際の事務処理などの方法を伺つてきました。

もっと、大掛かりな事業ではないかとの先入観も、持っていましたが、沼田市でもやれるという実感を持ちました。



→



←「健康包括提携」が締結された(株)ミズノから沼小へ「坂上ガリアシステム器」が寄贈されました。5年生が体育として試用する様子です。

皆「簡単に出来るようになった！」喜んで、次々と驚きと喜びとの声を響かせしていました。

沼田市とスポーツや体育で協力しながら、企業の「理念」や「知識」を沼田市民に理解・浸透することで、商品販売にもつながる。とした後ページ記述のCSV（共通価値創造）の一つの形とも考えられます。

58号の概要

- 3月定例議会から私の一般質問N〇1
新たな運動部活の適正運営について
総量規制と保護者の負担軽減について
PF1の活用で公共施設の高度利用を！
6次産業化の進捗と食育の活用
地方創生「小さな拠点」事例で集落活性化を！

「ブランド力と交流の元気創生」は6次産業化と食育推進で!

問：このテーマは「農産物のブランド化」までは一定進んできていると認識していますが、6次産業化センターの設置は、現在調整中ということでしょうか。進捗状況と今後の進め方をお聞かせ下さい。

また、これと並行して、新たに設置される炊飯機能が付加された新給食センターの活用を含めた、食育推進を「まちづくり」と捉え、個々の施策を関連付けて、組み上げていくことが

「水と緑の大地 田園空間都市沼田」の存在価値を高め、沼田市のコンセプトやイメージがより鮮明になるものと確信しますが、市長の見解などをお聞かせ下さい。

答：平成26年に沼田市農産物ブランド化及び6次産業化推進協議会を設立し、本市の高品質な農産物及び規格外農産物を有効活用した商品開発を行うとともに、販売、販路開拓、情報発信等の事業を行ってきました。

商品開発にあたっては、急速冷凍、フリーズドライ、低温乾燥等の新たな加工方法等を取り入れ、高付加価値を持つ商品開発と販路開拓等の調査・研究を行ってきました。



再質問：農林業・食育・集落活性化への今後望まれる方向は？

沼田市のコンセプトの一つ「水」をキーワードにした政策や事業では前ページ記述のPF1を活用した小水力発電事業が挙げられます。新年度予算では、自然エネルギー利用推進事業の約3400万円は、利根町平川の土地改良区用水を利用した小水力発電関連の費用と聞いています。

さらにPF1を活用した公民連携事業の先進事例で、横浜市の水道浄水施設を取り上げ再質問しました。（これも水です）上下水道の老朽管対応も深刻な時期を向かえています。

新発田市「食の循環のまちづくり」
残念ながら、6次産業化や林業の集約センターの進捗はマイナスとの再答弁でした。

今回は「食べる」をキーワードにした新潟県の新発田市の取り組みを紹介して、沼田市もこれに習って、生産者、加工者、流通者、消費者、

「地域のポテンシャル=潜在能力」を活かして集落や地域活性化を！

問：合併をして13年が経過しました。広域合併の克服策の一助として地域振興局制度を採用してきましたが、行政組織のスリム化による財政支出軽減を主眼として支所へと変更されました。

しかし、地域の独自性も尊重しながら、集落の衰退を留めていく施策は引き続き向かっていくべき重要な課題であると認識しています。

政府では地方創生のための様々な支援やプランも提案しています。こうした支援も積極的に活用し、地域資源の発掘や育成をしていくべきと考えますが、市長のお考えをお聞きします。

答：これまでに地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業、地方創生加速化交付金事業など、国の地方創生関連予算を活用した地域活性化事業に取り組んできました。

今後も国において地方創生関連予算が確保される見込みですので、国・県の動向等を的確に把握し、有効な支援策の活用に努めていく考えです。

H30年3月定例会 私の一般質問②

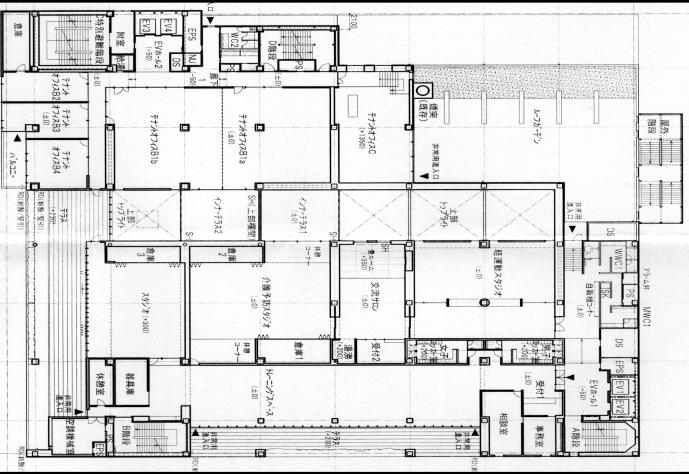
今後のグランドデザインは？

「市民が主役のまちづくり」の象徴施設となるテラス沼田活用について

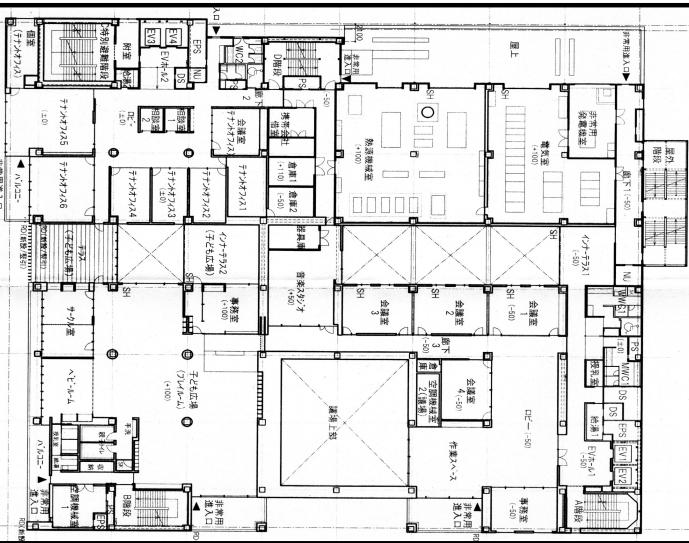
問：来年供用開始のテラス沼田ですが、当初の活用基本方針の青写真通りに準備が進んでいるのでしょうか。福祉ショップ・カフェの設置、民間テナント出店、市民活動のためのフロアの利活用の具体化はどのような状況なのか伺います。

また、この複合施設の管理運営の方法はどうしていくのか。そろそろ、固まってきているのではないかと考えますので、進捗状況を中心にお聞かせ下さい。

7階：左側上部には商工会議所など。中央部左から、民間参入予定のトレーニング・スペース、介護予防スタジオ、交流サロン、軽運動スタジオ。



6階：左側上部はインキュベーション・オフィス社協、障害者相談室。中央部左から、子ども広場音楽スタジオ、会議室×4、市民活動センター等



答：今後は、庁舎機能の移転・集約にむけて準備を進めるとともに、商業・業務施設における賃貸借契約や工事に関する細部の調整を行うほか、本市初となる歴史資料館を整備するため準備室を設置し、その対応を図る予定です。

また、それぞれの市民活動施設についても、運営体制や開館時間、使用料など、施設運営に必要な調整を引き続き進めるとともに、店舗や事務所など、いわゆるテナント等につきましても、各施設において検討が進められています。

に着目した企業等との連携について



文化会館+勤労青少年会館+公民館

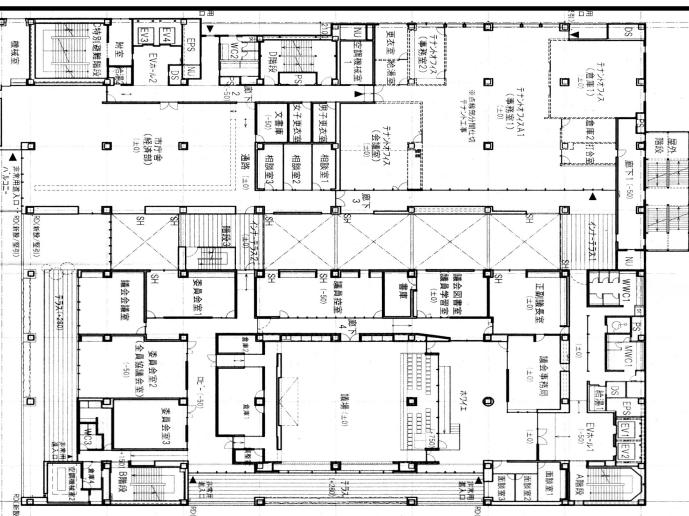
の機能を併せ持つテラス沼田5～7階

普段は議場の5階は、「多目的ホール」として研修会や発表会、懇親会等が300人規模で開催可能で社会教育課の所管。6階の音楽スタジオと共に文化施設機能を持ちます。7階での「談話室+介護予防スタジオ」は高齢福祉と健康課が担当課となります。

6階の「子ども広場」は子ども課、市民活動センター+ユーティリティは生活課が受け持ちます。

施設内に沢山ある会議室活用の検討は、生活課+総合調整です。行政はタテワリが好きだが、市民協働の具体化へ最後の総合調整力に期待します！

5階：左側上部は市役所経済部、テナント・オフィス。中央部左から、議会会議室×4、事務局、面談室、議会学習室。下段中央部には多目的ホールとしても使用可能な議場（傍聴30：ホール約300）



市内に点在する集落を繋ぎ活性化を！

以前にも高知県などを例にして国交省の「小さな拠点づくり」を訴えました。今回は総務省の地方創生も含めて、様々な事例が沢山あるので、市内の実態に見合った最善の活性化を積極的に取り組むよう訴えました。

○△地域協議会等を立ち上げ、住民自ら出資直売所や居場所も兼ねたガソリンスタンドを運営したり、ネットワークバスを走らせたりが可能になります。いずれにしても農林業の活性化と地域活性化は、一体推進してこそ効果が増すと考えています。

まず、横山市長の1期4年は何を目指してきたのか？

私は、4年前にも市長としての真意や基本的な考え方を、市民の代弁者として質問しました。そこで今回も1期の総括と2期目の根底にある基本的な考えを、しっかり質問により引き出し、今回もまた市民の方々に、できるだけ正しく伝えようと質問を決意した次第です。

問：市長が公約として掲げた一つである「幸福度NO1のまち沼田」とした住み心地・暮らし心地向上策の評価についてですが、4年前にはブータンの国民総幸福量（GNH）を例にして質問致しました。

この幸福を測る尺度や基準を「持続可能な社会経済開発」「環境保護」「伝統文化の復興」「優れた統治力」という4つの柱と「心理的幸福」「時間の使い方とバランス」「文化の多様性」「地域の活力」等9つの要素で推し量るというものでした。詰まるところ、行政への満足度、沼田市への愛着や誇りの度合いということにも繋がって来ると考えますが、現時点での到達度や課題などをお聞かせ下さい。

「幸せってどんな状態？」 人の心で感じるものだから…

答：幸福度を測る尺度として、ブータン国王が表現した国民総幸福量（GNH）が挙げられます。これは「あなたは幸せですか？」との問い合わせに対して、「幸せです」「まあ幸せです」と回答した人の指数のことであり、市民の皆さまが『こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち』を感じていただけることだと考えております。そのために、様々な事業を展開してきましたが、今後も更なる推進を図っていきたいと考えています。

私は勝手に「停滞回復」と「ハード基盤整備」の4年と捉えています。

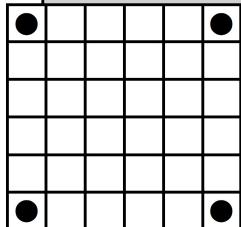
私が考えるその事例の一部

- ①グリーンベル21の所有権取得による中心市街再開発の「やさしさの核」への変更により遅延の解消と兼ねて実施された。
- ②生方記念文庫、旧沼田貯蓄銀行と旧土岐邸も上之町移転を決め、中町へ介護施設を設置が決定し、課題は残しつつも大幅に事業進捗が図られた。
- ③沼田公園内の野球場、テニスコートの移転を関係者の了承を得た。これにより（仮称）沼須運動公園の総合運動場化の目途が立つことになった。
- ④さらに武道館の東原庁舎跡へ移転により、沼田公園長期整備構想の具体化の基盤ができた。
- ⑤市民体育館の大規模改修により、ドイツフェンシングチームの東京五輪事前合宿の受け入れと、国内大会の誘致の基盤が出来た。さらに上原町に屋内運動場を集め「ゾーンニング」ができた。
- ⑥利根町の3小学校を「テクノアカデミー」や

「ドローン教習所」「新学校給食センター」として利活用して、課題はあるものの、公共施設の利活用のモデルとすることことができた。

- ⑦3・3・1環状線栄町工区、横塚生品農工団地へのアクセス道の着工が決まり、搬入出道路としての機能が發揮されることになった。
- ⑧そして最後にテラス沼田を商工業・市役所・福祉を中心とした「市民活動具現型複合施設」のハード事業の目途がついた。

オセロで言えば「4角」 囲碁でいう「定石」



オセロで言えば4角を確保するような、囲碁で言えば「定石」を打つような、今後の勝負を有利に進める言わば、非常に重要な「拠点」を築いてきていたと考えています。

しかし、家を建てるごとに、そこでの暮らしを充実させることは別問題で、ハードからソフトへの「シフトチェンジ」が必要と考えます。

部活動の在り方に関する 「新」総合的なガイドライン

問：この問題は昨年も2度に渡って質問していましたが、改めて伺います。

競技力向上至上主義や、根拠の薄い長時間練習依存型の「部活」のあり方を根本から見直し、「ゆるスプ」や文化部の推奨、休養日の設置の徹底、合同チームの大会参加も含めた「新たな時代へ向けた学校改革」と受け止められます。

部活が楽しみな生徒も存在する一方で、誠に残念ながら学校に行くのが辛く、毎日毎日、悩み続けている生徒と、そのご家族も確実に存在していることを申し添え、教育長の積極的な答弁を期待しながら私の質問と致します。

答：国のガイドライン骨子案に則り、休養日の設定等を規定した県の方針が決定されています。

本市では、現在、国や県に準じて、適正な部活動運営に向けた方針を策定しているところであります。平成30年度より、平日1日と土・日のいずれか1日の、週2日以上の休養日を設定することや、各中学校ごとに、部活動の運営方針等を策定するなどを規定し、適正な運営と指導がなされるよう、指導していく考えです。

理想と現実に大きな乖離が…

 部活は強制ではなく「自主的・自発的」に加入し活動することが、文科省の大前提です。昨年議会で、教育長もこれを認めています。（一旦加入は継続）

改めて、市内各中学校へ「部活は自由意志」でという指導の強化を求めたいと考えます。

中段の一覧表にあるように群馬では考えられないと思いますが、部活を義務化している県には高低差が歴然としていて、東京や鹿児島では10%に達していません。だからといって、こうしたことが原因で、全国の中学校が混乱をしているということも聞いたことがありません。

少なからず30年度からは 部活時間は大幅に圧縮される

新ガイドラインでは、
平日の練習時間=2時間
休日の練習時間=3時間
部活を義務付けている

岩手県	99.1%
静岡県	64.1%
香川県	50.0%
山口県	40.0%
奈良県	21.6%
東京都	8.9%
鹿児島県	6.3%
合計	38.4%

全国の主な県の 部活動加入調査

	部活を義務付けている
岩手県	99.1%
静岡県	64.1%
香川県	50.0%
山口県	40.0%
奈良県	21.6%
東京都	8.9%
鹿児島県	6.3%
合計	38.4%

左のカレンダーは市内のある中学校の2つの運動部の3月の練習・大会・遠征予定表です。

上で述べたような新基準からは大幅に修正された予定表が、4月からは配布されるはずですので、注視していかないと考えています。

また、送迎、ユニホーム代金などの負担軽減についても今後見守っていく考えでいます。

3月	A中学B部	A中学C部	3月	A中学B部	A中学C部
1 木	放課後～17:30	放課後～17:30	17 土	8:30～18:30	県外大会
2 金	放課後～17:30	放課後～17:30	18 日	8:30～18:30	県外大会
3 土	8:30～12:00	9:00～?	19 月	練習休養日	放課後～16:40
4 日	8:30～?	県内練習試合	20 火	?～?	放課後～17:30
5 月	放課後～18:00	放課後～17:30	21 祝	駅伝大会参加	駅伝大会参加
6 火	放課後～18:00	放課後～17:30	22 木	放課後～17:30	放課後～17:30
7 水	放課後～18:00	放課後～17:30	23 金	放課後～17:30	放課後～17:30
8 木	放課後～18:00	放課後～17:30	24 土	8:30～12:30	休養日
9 金	放課後～18:00	放課後～17:30	25 日	練習休養日	休養日
10 土	8:30～12:30	休養日	26 月	?～?	放課後～16:40
11 日	県内練習試合	休養日	27 火	8:30～12:30	9:00～?
12 月	放課後～16:30	休養日	28 水	8:30～12:30	9:00～?
13 火	卒業式	卒業式	29 木	8:30～12:30	9:00～?
14 水	練習休養日	放課後～17:30	30 金	8:30～12:30	9:00～?
15 木	放課後～18:00	放課後～17:30	31 土	練習休養日	9:00～?
16 金	放課後～18:00	放課後～17:30	合計	休養日＝5日？	休養日＝6日

「協働のまちづくり」に着目した企業等との連携について

問：市民協働を量的・質的な充実・拡大を目指すとなると、地縁を中心とした領域から、社会的課題を中心とした領域まで網羅できる組織や仕組みにボリュームアップ、ランクアップさせていくことが求められてくると認識しています。

今後は、企業等も巻き込んでいく「社会的共有価値の創造」CSVの活動等との連携も必要と考えますが、市長の考えをお聞かせ下さい。

答：協働のまちづくりを充実・拡大させていくためには、ボランティアを基本とした取り組みでは限界があり、今後、企業等と連携した活動が必要と考えております。

→ ご提案の「社会的共有価値の創造」=CSVは、企業が社会の課題等に主体的に取り組み、社会に対して価値を創造することで、高崎市のシステム開発会社と群馬県警察が連携し、高齢者等身元特定支援サービスの実用化へ役立てていると聞いています。

コミュニティや絆=社会的規範の低下すると社会はギスギスして犯罪が増大 ソーシャル・キャピタル(SC)

一般的に近代社会では、見合い話を近所に勧める「おせっかいなおばさん」や「社会のルールを近隣の子供達に「厳しく指導する頑固じいさん」が減少し、「おせっかい」が影を潜めて地域社会が希薄化し「隣は何をする者ぞ！」とした風潮が横行しています。

社会的価値とは、これ自体が減少しても直接的な損出は見えにくいが、殺伐とした地域社会となって、「犯罪多発」「近隣トラブル」「共助思想低減」などのリスクが増大して、警察や裁判の増員・増強の負担を、結局地域住民自身が負担しなくてはならなくなります。

お金持ちの方々は、セキュリティの整った高級マンションに住み、裁判沙汰になんでも敏腕弁護士を雇うことで、こうしたリスクから個人的解決が可能です。しかし庶民は…？



Shared Value=共通価値の創造の略称です。上の図は味の素のCSVのイメージ図で、左側が「社会的価値」右側が「経済的価値」そして中央部が「社会的共有価値の創造」の部分で、第三の価値とでも呼べばいいのでしょうか。

お金にはならない「正義や絆=社会的規範」といわゆる「お金儲け=企業経済活動」が生み出す「新しい価値」が個人の幸福感や企業の使命感を増幅させるはず。とした考え方で、味の素をはじめネスレや伊藤園など国際的企業ほど、こうした取り組みを重視し始めていると聞きます。

近江商人の「三方良し」の商売の極意 これこそ元祖CSV?

- ①商売は世の為、人の為の奉仕にして、利益はその当然の報酬なり。
- ②店の大小よりも場所の良否、場所の良否よりも品の如何。
- ③売る前のお世辞より買った後の奉仕、これこそ永遠の客をつくる。
- ④資金の少なきを憂うなれば、信用の足らざるを憂うべし。
- ⑤無理に売るな、客の好むものも売るな、客の為になるものを売れ。
- ⑥良きものを売るは善なり、良き品を広告して多く売ることはさらに善なり。
- ⑦紙一枚でも景品はお客様を喜ばせる、つけてあげるものないとき笑顔を景品にせよ。
- ⑧正札を守れ、値引きは却って気持ちを悪くするくらいが落ちだ。
- ⑨今日の損益を常に考えよ、今日の損益を明らかにしないでは、寝につかぬ習慣にせよ。
- ⑩商売には好況、不況はない、いずれにしても儲けねばならぬ。

三方良しの論理は、消費者や社員などの利害関係者（ステークホルダー）を最重要視し、売上の一部を社会還元するという「富の再配分」（慈善活動）ではなく、製品・サービスの提供により経済価値も社会価値も同時に生み出そうという考え方。つまり、企業活動の社会性の限界を説いているのかも知れません。

健康に関心の低い層へのポピュレーションアプローチの実践第一弾? スマートウェルネス「健幸」沼田の始動! 健康づくりのための歩き方

(株)ミズノのウォーキング活動量計のイメージ



新年度から市民500人を目標にこの器具を使用して健康への関心度を高める事業が始まります。

3月24日保健福祉センターで、新年度の主要施策「スマートウェルネス」事業に向けた研修会が開催されました。

講師の青柳氏は中之条町で、町民に歩くことを推奨し、医療費を大きく軽減されることに成功した知識と実績のある方で、難しい内容を分かりやすく、話してくれました。

中之条町での取り組みの結果、町民の運動・活動量に関する興味は向上して、現在では町の医療費が大幅に軽減されたと報告されました。

また、彼は「1日2000歩以内の人は、ほ

ぼ家から出ないで認知症発症の確立高い。家事等と合わせて最低5000歩、15分の運動量で、心疾患、脳卒中のリスクがグッと減る。」と話しました。

左の活動量計（万歩計の詳細版？）を装着して蓄積されたデータを「可視化」し、健康課と二人三脚でチェックしながら、歩数と健康度の向上に取り組むことになりました。

また、健康課では活動量にポイント制を導入して、適度な活動を推奨していく仕組みも、現在考えていると話していました。

健康や歩行に感心のある方々が今日の参加者。しかし、重要なのは今、ここにいない人達に運動の重要性を浸透させることが大切と説いた。



「身の丈にあった行政運営」 に向けて公共施設管理はPFIで!

問：これまで、公共施設の管理運営と言えば「直営」か「委託契約」か「指定管理」の3通りの選択肢しかありませんでした。

PFIもそこに加え、その趣旨・目的にあつた方法を柔軟に積極的に選択して、維持管理費の縮減に留まらず、収益性の望める事業では利益還元も確保し、福祉など収益性の確保が困難とされる部門では、これにふさわしい手法を選択していくべき時代と考えますが、市長のお考えをお聞かせ下さい。さらに、公共施設を統廃合して「複合化・多機能化」していくとなれば、

当然行政組織同志での調整や一体的な運用も比重を増し、施設同様会議や府内組織も「複合化・多機能化」させていかなくてはなりません。現在の様々な府内会議の回数、内容等を踏まえ、今後への考え方をお聞かせ下さい。

答：昨年度策定した沼田市公共施設等総合管理計画において今後の公共施設の管理に関する基本的な方針を決定した中で、具体的な考え方として公民連携を掲げています。

今後は、こうした計画の考え方を踏まえ、公民連携の手法であるPFIや包括管理委託なども含め、趣旨・目的に合った手法を選択することにより、施設の適切な管理運営に努めていく考えです。